

かつての伊勢街道に残る道標^{どうひょう}

かつて伊勢街道だった県道428号線には、江戸時代に伊勢神宮を目指した旅人などのために建てられた道標が残されています。現代のようにスマートフォンやカーナビなど便利な道具がない時代、道標に記された道案内や距離は旅人にとって貴重な情報源でした。

町内には、竹川と新茶屋に外宮までの距離を示す立派な道標が残っており、参宮客でにぎわった当時のお伊勢参りを思い起こすことができます。

竹川

「^{これよりげくうえさんり}従是外宮江三里」と刻まれています。側面には^{こうか}弘化4年(1847)に^{おうみのくにもりやまじゆく}近江国守山宿の^{しゅぜんじ}守善寺が企画し、松坂の商人が世話人になったことが記されています



伊勢神宮への案内の道標以外にも、竹川には^{はたどの}機殿さんへ案内をする道標も伊勢街道沿いに残されているよ



新茶屋

「^{これよりげくうにり}従是外宮二里」と刻まれています。背面に^{かえい}嘉永6年(1853)に建てられたことと、竹川のもと同様に近江国守山宿守善寺が発起であることが記されています



町内には他にも道標が残されているよ。

古い地図や聞き取りをして昔の道を探してみると面白いよ！

キーワード：伊勢街道、道標、お伊勢参り